

會報

令和2年6月13日 発行

第 73 号

関東地区整形外科勤務医会

発行者：会 長 江畑 功

発行所：事務局 中川 照彦

〒130-8587 東京都墨田区横綱 2-1-11

同愛記念病院整形外科内

関東地区整形外科勤務医会

電話 (03) 3 6 2 5 - 6 3 8 1

FAX (03) 5 6 0 8 - 3 2 1 1

巻頭言

感 染 症

横須賀共済病院

江 畑 功

私がまだ整形外科医になりたてであった頃、「感染症」と言われて思い浮かぶのは間違いなく骨髄炎でした。当時はまだ戦時中の傷病から何十年も排膿しているという患者さんもあり、最終的に切断ということも珍しくありませんでした。開放骨折術後に骨髄炎を発症することも時々あり、持続還流など様々な方法を試みてきました。近年ではMRSAなどの厄介な菌も横行するようになり、インプラント周囲感染などに対処しなくてはならない場面も徐々に増えてきたように感じられます。薬物治療法などの進化もあり、苦勞しながらもなんとか持ちこたえてきた、という印象でしょうか。また、当時はまだ「脊椎カリエス」なども時々ありましたし、現在も「脊椎炎」は決して珍しくはなっていません。とにかく、整形外科医にとっては骨・関節感染症というのが一番頭を悩ませられる状態ではありました。

しかしながら、昨今は整形外科医が直接治療に関わることの少ない「肺炎」に相当振り回されるようになってしまいました。呼吸器感染症といえばSARS（2002～2003年：中国・香港中心）やMERS（2012～：中東中心）などがありましたが、日本では直接大きな影響はありませんでした。新型インフルエンザ（2009～2010）は日本でも数百人規模の死者があり、それなりに大きく報道はされましたが、当時でも我々整形外科医は直接影響を受けることは少なかったかと記憶しています。一方、今回の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関しては世界全体でかなり患者数・死者数も多く、日本においても国民全体に外

主要目次

1. 巻頭言..... 江畑 功 1
2. 新型コロナウイルス感染にかかわるアンケート結果 2
3. 「動ける」ことを意識した骨転移診療 河野 博 隆 3
4. 整形外科でもわかるリウマチ治療のアップデート 門野 夕 峰 3
5. 関東地区整形外科勤務医会幹事・常任幹事会（2019.12）..... 6
6. 関東地区整形外科勤務医会常任幹事会議事録（2020.3）..... 6
7. 編集後記 10
8. 入会のご案内 11

出自粛など通常生活に大きな影響を及ぼしています。今年1月に中国・武漢において無症状感染者（潜伏期）と認識しないまま全身麻酔下に待機的手術を行った場合の術後経過の悲惨さは、日整会の特別サイトでも取り上げました (<https://doi.org/10.1016/j.eclinm.2020.100331>) が、その結果非感染者の通常（待機的）手術の制限も考えなくてはならなくなり、我々整形外科医も直接影響を受けることになりました。特に関東地区は感染者数も多く、各病院でどのような取り組みをしているか現状を調べるべく、常任幹事の先生方にメールでの緊急アンケートを実施しましたので、今回の会報に掲載させていただきます。医療物資の不足などまだ多くの課題を抱えながらではありますが、何とかこの難局を乗り越えていかなければなりません。残念ながら6月の総会・研修会は中止とせざるを得ませんでした。メールなどを利用して情報共有など活動を続けてまいります。秋以降にまた直接お会いできる状態になっていることを願っておりますので、ご自身の感染予防策など十分にお気を付けください。

新型コロナウイルス感染に関わるアンケート結果

対象：関東地区整形外科勤務医会の常任幹事の勤務施設

期間：2020年4月15日（水）～4月17日（金）

有効回答数：58 施設中 40 施設(69%)

質問内容：松本理事長からご提供いただいた中国、武漢の論文を紹介し、以下の設問に答えていただきました。

設問内容：

1. 貴院はどちらにありますか () 都・県
2. 感染症指定医療機関ですか ()
3. 病院では新型コロナ陽性患者の入院受け入れをしていますか ()
4. 新型コロナ陽性患者の整形外科的治療（手術含め）を担当されましたか ()
5. 外傷等で入院された後に新型コロナ陽性が判明したケースはありましたか ()
6. 発熱や倦怠感等を伴わない患者の予定（急ぎでない）手術の延期を検討されていますか ()
7. 手術を予定している（呼吸器症状などが無い）患者にPCR検査を行いますか ()
8. その他ご自由に意見をお願いします。

結果

1. 東京：17、神奈川：8、埼玉：4、千葉：2、茨城：3、栃木：2、群馬：4 合計 40 病院
2. 感染症指定医療機関：11、非指定医療機関：29
3. 陽性患者受け入れ済み：29、未受け入れ：11
4. 整形治療担当：1（保存1）、（今後手術予定）：未 38
5. 外傷で入院後陽性判明：2、未：38
6. 待機手術延期検討：29、検討せず：11
7. PCR 予定：4、未：36（胸部CT等併用：4）

以上の結果要約

1. いずれも各地域の中核病院であるが、58 病院中 40 病院から回答が得られた

2. 感染症指定医療機関では比較的早期から陽性患者の受け入れが始まっていたが、その後の感染拡大に伴って18病院で新たに受け入れを開始している
3. 陽性患者の整形外科的治療を開始したところはまだ少ない
4. 外傷で入院後に陽性判明はまだ2例と少ない
5. 通常の待機手術を延期しているところはすでに多い（学会の指針を参考にしている）
6. 通常の待機手術にPCRまで行う予定としているのはまだ比較的少ない
7. 自由意見からは
 - ・今後受け入れや治療が増加すると見込んでいる
 - ・内科だけでは手が足りないので整形外科医も陽性患者への対応をしている
 - ・PCRをしたくても病院として制約がある
 - ・ガウンやマスクなどの物品が足りない
 - ・経営難と地域医療下支えのために整形外科は通常診療の継続を管理者から指示されており、手術制限をしていない
 - ・コロナ以外の診療は縮小しており、甚大な影響が出ている
 - ・整形外科手術はTier3のみとしている
 - ・病院の構造上の問題でZoningに苦労している クルーズ船から続く対応で職員の疲弊が激しい
 - ・地域の特性上まだ感染者が多くないので通常に診療しているが、そろそろ対策が必要と感じている
 - ・入院患者全例に低線量胸部CTを撮影し、疑いがあればPCRを行う
 - ・外傷で入院した患者のSatO₂が低かったため個室隔離とし、その後PCRで陽性と判明した

「動ける」ことを意識した骨転移診療

—がんロコモを考える—

帝京大学医学部整形外科学講座
教授 河野博隆

令和という新しい時代を迎えた我が国は、少子高齢化に加えて医療界全体ががん患者数の増加に直面しています。国内の新規がん罹患数は年々増加を続け、2016年から年間100万人を超えて、出生数を上回っています。今や国民の2人に1人が生涯でがん罹患するだけでなく、長期間がんと共に生活する担がん患者が激増し、まさに日本は「がん時代」を迎えています。

これまで、「がん」から距離をおいていた整形外科全体が医療界全体からのニーズに応じて、がん診療に取り組もうとする活動が「がんとロコモティブシンドローム(がんロコモ)」です。がんロコモは「がん自体あるいはがんの治療によって運動器の障害が起きて移動機能が低下した状態」を示し、骨転移などの「がんによる運動器の問題」、長期臥床による筋力低下などの「がんの治療による運動器の問題」、そしてがん患者に元々存在する「がんと併存する運動器疾患の問題」の3つの状態に分けられます。

整形外科医は、がんは専門外の領域として関与を避けてしまう傾向があります。その結果、がん患者であるという理由で、運動器疾患の適切な治療を受ける機会を逃していることも少なくありません。

がんの平均罹患年齢は75歳であり、がん罹患以前に変形性脊椎症や変形性関節症などの運動器障害の頻度が高いことに注意が必要です。運動器の障害によるADL制限が「見かけ上のパフォーマンスステータス(PS)」を低下させ、がんの治療適応に影響を与えてしまう可能性もあります。

整形外科が、がん診療に取り組む方針を打ち出した施設では、骨軟部腫瘍専門医がいなくても、通常の運動器診療を行うだけで、多くのがん患者が自立した生活を取り戻しています。がん診療チームの一員として、整形外科医に求められているのは「がんを治す」ことではありません。がん患者が「動ける」状態を維持することです。

がん診療には国民的関心が向けられています。そして、がん診療では長期間に渡るがんとの共存方法を模索するパラダイムシフトが進んでいます。多くの整形外科医が少し視点を変えて、少し関心を持つだけで、動くことができないがん患者や不必要な安静を強いられている多くのがん患者が、歩いて自立した自分の生活を取り戻すことができます。

運動器診療を発展させてきた整形外科では、様々な領域で開拓が進み、もはや「未開の地(フロンティア)」はないといってもいいでしょう。1960年にJFケネディは大統領候補指名受諾演説において、開拓が終わった地に多くの問題が残されている状態を「ニューフロンティア」と名付け、国家的な政策として提言しました。ニューフロンティアは「未解決の地」と言い換えてもいいかもしれません。これまで多くの整形外科医が専門外として対象にしなかった「がん」の領域は、運動器診療科としての潜在能力を発揮できる、まさに「ニューフロンティア」といえるのではないのでしょうか。

整形外科医でもわかるリウマチ治療のアップデート

埼玉医科大学

整形外科 門野夕峰

関節リウマチ治療では不可逆的な骨破壊をきたしてADLに支障をきたさないように、早期に診断して治療を開始することが求められている。MTXがアンカードラッグであるが、効果不十分の場合にはTNF阻害剤、IL-6阻害剤、共刺激分子阻害剤などの生物学的製剤やJAK阻害剤など分子標的薬を使用することにより、寛解もしくは低疾患活動性に抑えて関節破壊の進行を抑制することが治療目標となった。タンパク製剤である生物学的製剤は細胞外で1つの分子シグナルだけを持続的に抑制し、低分子化合物であるJAK阻害剤は細胞内で複数の分子シグナルを間欠的に抑制する特徴がある。

臨床試験の患者背景と同様の条件下では、ガイドラインに沿った治療を行うことが現実的であるが、高齢者では併存疾患の状態を加味しながら治療を選択していく。疾患活動性を抑えきれないと、少なからず関節変形は進行し、加齢変性も加わってADL低下、QOL低下をきたす。全身の運動器疾患として関節リウマチを考えたとき、薬物治療だけでなく、装具や生活環境の整備、手術を含めたトータルケアを考えることが重要である。

関東地区整形外科勤務医会 幹事・常任幹事会

日時：2019年12月14日 土曜日 15:00～15:45

場所：A P東京八重洲通り

出席者：新井 嘉容、石橋 英明、泉田 良一、伊室 貴、
岩瀬 嘉志、上田 誠司、浦部 忠久、江畑 功、
大野 隆一、岡崎 裕司、落合 直之、鎌田 修博、
楠瀬 浩一、小森 博達、小柳 貴裕、佐々木 孝、
清水 健太郎、進藤 重雄、杉山 肇、高畑 智嗣、
田中 利和、中川 照彦、中島 育昌、新関 祐美、
西本 和正、蜂谷 将史、平泉 裕、別府 保男、
星川 吉光、穂積 高広、堀内 行雄、眞塩 清、
三上 容司、村松 俊樹、山本 精三

(35名、敬称略、五十音順)

議題

【報告事項】

1 理事会報告

江畑先生より報告

JOANR：各施設で倫理審査が必要

第93回日整会総会：ランチョンセミナーで座席
指定システム検討

日整会誌：電子媒体への移行を検討

学術用語集：Webおよびアプリ版での発行検討、
非会員は有料か？

専攻医希望者数状況の中間報告：609名

(昨年：513名)

放射線被曝に対するガイドライン作成を検討中
医師の働き方改革、タスクシフトの検討（臨床工学
士による手術補助、特定看護職による処置など）

ロコモガイド作成

2 ホームページ・会報

伊室先生より報告

会報作成、発送の完了報告

3 ロコモ チャレンジ！推進協議会の活動報告会

石橋先生より報告

1万人調査の結果をJOSへの投稿

ロコモパンフレット：2020年4月に発行予定

日整会総会：福岡駅構内に広告

4 外保連関係の報告

平泉先生（日整会 社会保険委員会委員長）より

報告

椎弓形成術の手技科：椎弓形成術に関して厚労
省保険局に説明を行った。

診療報酬改定：2020年に増額の見込み、放射線
防御の算定可能か？

次々回改訂にAIが採用されることによるマイナス
算定の可能性？

5 内保連関係の報告

石橋先生より報告

働き方改革

泌尿器学会が新規参入

6 関東地区整形外科勤務医会(第69回教育研修会)

2019年12月14日(土) 16:00～18:00

A P東京八重洲通り

演題1 座長 石橋 英明 先生

演題：「動ける」ことを意識した骨転移診療

演者：帝京大学医学部整形外科学 主任教授

河野 博隆 先生

必須分野番号：5、13、Re

演題2 座長 岡崎 裕司 先生

演題：整形外科医でも分かるリウマチ治療の
アップデート

演者：埼玉医科大学整形外科・脊椎外科 教授

門野 夕峰 先生

必須分野番号：6、9

7 2020年3月の常任幹事会の日時、場所

日時：2020年3月16日 月曜日 19:00～20:00

場所：A P東京八重洲通り

8 来年の関東地区整形外科勤務医会 幹事・常任幹事

総会、第70回教育研修会の日時、場所

日時：2020年6月13日(土)

場所：A P東京八重洲通り

14:30～15:20 幹事・常任幹事会

15:30～15:50 総会

15:50～16:00 商品説明

16:00～18:00 第70回教育研修会 2演題

18:00～ 情報交換会

9 2020年10月の常任幹事会の日時、場所

日時：2020年10月26日 月曜日 19:00～20:00

場所：A P東京八重洲通り

日整会代議員選挙に関して

推薦状署名・捺印など

- 10 第71回教育研修会の日時、場所
 日時：2020年12月12日 土曜日 16:00～18:00
 場所：AP東京八重洲通り
- 11 その他

会報への広告掲載による収益

以上

関東地区整形外科勤務医会 常任幹事会 議事録

【審議事項】

- 1 第70回教育研修会（2020年6月13日土曜日）の演者の候補者と演題に関して
 教育研修委員会 委員長 村松 俊樹 先生から鈴木先生、稲葉先生からは内諾を得られている。
- 1) 厚生労働医務技監 鈴木 康裕 先生：
 「医師の働き方」関連
 （山縣先生からの推薦）
- 2) 横浜市立大学整形外科教授 稲葉 裕 先生：
 股関節の痛み関連演題
 （江畑先生からの推薦）
- 2 第71回教育研修会（2020年6月13日土曜日）の座長の選定および座長の所属の確認
 座長1 氏名：山縣 正庸先生
 所属：千葉ろうさい病院 勤労者脊椎・腰痛センター長
 座長2 氏名：江畑 功先生
 所属：横須賀共済病院 院長補佐
- 3 来年の東日本整形災害外科学会パネル・シンポ（2020年9月18～19日）に関して
 テーマ、演者、座長など：現時点では未定
 2021年：岩手医大開催は既に依頼あり
- 4 新常任幹事の推薦
 候補者：西本 和正 先生（川崎市立井田病院 整形外科部長）（現幹事）
 推薦者：鎌田 修博 先生
- 5 中川 照彦先生が今年度（2020年5月31日まで）で事務局総務を退任
 2020年6月13日の幹事・常任幹事会および総会での事業報告、次年度事業案、決算報告、予算案は中川が作成し報告します。
- 6 新事務局総務の選任（2020年6月1日から）
 候補者：新井 嘉容 先生（済生会川口総合病院）
 推薦者：江畑 功 先生、中川 照彦先生
- 7 今後の本会のあり方に関して
 帝國製薬より「医療用医薬品製造販売業公正競争規約」に則した教育研修会運営の再確認。
 「痛み」に関する演題を入れることが必要。

日時：2020年3月16日（月曜日）

方法：メール審議

参加常任幹事

浅野 聡、新井 嘉容、石橋 英明、泉田 良一、伊室 貴、岩瀬 嘉志、浦部 忠久、江畑 功、大江 隆史、岡崎 裕司、落合 直之、桂川 陽三、鎌田 修博、亀ヶ谷 真琴、亀山 真、川井 章、河内 敏行、河村 直洋、木村 雅史、楠瀬 浩一、河野 亨、五嶋 孝博、小森 博達、西須 孝、佐々木 孝、坂根 正孝、篠崎 哲也、清水 健太郎、進藤 重雄、杉山 肇、高畑 智嗣、田尻 康人、土屋 正光、寺内 正紀、富田 善雅、中川 照彦、新関 祐美、西本 和正、原田 繁、原田 義忠、平泉 裕、平野 篤、別府 保男、星川 吉光、穂積 高弘、堀内 行雄、松本 誠一、三上 容司、三原 久範、村松 俊樹、山縣 正庸、山崎 隆志、山本 精三、早稲田 明生

（54名、敬称略、五十音順）

議 題

【報告事項】

1 理事会報告

江畑先生より報告

- ・JOANR：各施設での倫理審査必要。倫理委員会のない連携施設では、日整会で倫理審査可能。各施設の登録は2月から開始。手術登録自体は4月から開始。
- ・日整会誌の印刷費・発送費が高額のため、電子媒体にするかどうかのアンケート調査中。
- ・専攻医：今年は609名に増加（昨年513名）
 京都、和歌山、香川、福岡、長崎、熊本でシーリングオーバーだが、おそらく調整可能。
- ・放射線被ばくに関するガイドラインを検討中。
- ・定款の改定案（理事定数の変更、理事長再選など）を理事会で承認。総会に諮る予定。
- ・2021年度専門医養成数に関する検討協議会
 シーリングは今後も継続。整形外科は比較的良い方

であるが、他科はさらに厳しくなるかも。

- ・タスクシフト：周術期パッケージとして術後の創処置やドレーン抜去なども看護師に？
整形外科の提示したものが外科系全体に適應されていく可能性あり。
- ・基礎学術集会および骨・軟部腫瘍学術集会の参加費を15,000円から17,000円に値上げ。
- ・4月からの運動器健診について
厚労省の公文書はフレイルに傾き、ロコモの文言が入っていない。
→「日整会は日本臨床整形外科学会および日本運動器科学会とともに、ロコモがフレイルと共に活動していくことに賛同し、フレイルで活動している老年医学会やサルコペニア・フレイル学会と協調して国民の健康寿命延伸に貢献する。」という方針に決定。
- ・令和2年度事業計画・収支予算等の承認。
- ・定時社員総会の開催通知
学会がWeb開催（新型コロナの影響、3月19日理事会で決定）になった場合も検討。

2 ホームページ・会報

伊室先生より報告

- ・会報 第72号のPDFをHPに掲載した。
- ・第69回教育研修会で講演いただきました河野先生と門野先生の抄録は、既に入稿済み。

3 ロコモ チャレンジ！ 推進協議会の活動報告会

大江先生より報告

ロコモチャレンジ！ 推進協議会報告

① ロコモ度テストの新しい臨床判断値の策定

について、日本整形外科学会の執行部へ説明し

3月19日の理事会で報告・審議予定である。ロコモ度3として、ロコモ25で24点以上、立ち上がりテストで両脚で30cmから立ち上がれない、2ステップテストで0.9未満、のどれか1つを満たすものとする。理事会で承認されれば、ロコモパンフレット2020年版の作成を開始し、9月の記者説明会で松本理事長から公表の予定である。

ロコモ度3は、移動機能低下により社会生活に支障をきたした状態と定義でき、手術などの治療によって改善できる場合が多く、その該当率は身体的フレイルよりやや多い程度になる。

② ロコモ度テストの性・年代別基準値をロコモパンフレット2020年版に記載するべく準備を開始した。

4 外保連関係の報告

1) 亀山先生（日本整形外科勤務医会 外保連実務委員）より報告

令和2年1月9日の医療技術評価分科会で2020年度診療報酬改定の要望案件に対する採択結果が示された。学会等から医療技術評価分科会に提案のあった技術は719件で、採択は258件（36%）であった。昨年8月に厚労省のヒアリングを受けた「放射線被曝下手術に対する加算」は残念ながら未採択であった。なお、日本手外科学会との連名で要望した「複数手術に関する費用の特例の対象手術に神経再生誘導術を追加」は採択されているはずだが、詳細はまだ未公表となっている。

2) 平泉先生（日整会社会保険委員会委員長／外保連理事）より報告

令和2年度診療報酬改定結果

臓器別改訂結果

区分	新規	項目の見直し	注の追加等	増点	減点
第1款 皮膚・皮下組織	1件	0件	0件	9件	0件
第2款 筋骨格系・四肢・体幹	4件	1件	3件	14件	0件
第3款 神経系・頭蓋	5件	0件	0件	7件	1件
第4款 眼	0件	1件	2件	14件	1件
第5款 耳鼻咽喉	4件	0件	0件	21件	0件
第6款 顔面・口腔・頸部	5件	5件	0件	2件	0件
第7款 胸部	6件	2件	2件	8件	1件
第8款 心・脈管	7件	13件	2件	5件	8件
第9款 腹部	9件	15件	15件	21件	3件
第10款 尿路系・副腎	2件	0件	3件	0件	0件
第11款 性器	0件	1件	0件	2件	1件
第12款 女子性器	2件	2件	0件	20件	0件
第13款 臓器管理科	0件	0件	0件	1件	0件
第2節 輸血科	4件	0件	1件	0件	0件
第3節 手術医療器等加算	1件	0件	0件	2件	0件
計	50件	40件	28件	126件	15件

外保連試算を指標にした点数改定(領域別)

手術名	改定率	
	02年度	30年度
平均	104.19%	105.54%
第1款 皮膚・皮下組織	101.42%	110.26%
(皮膚、皮下組織)	102.08%	103.59%
(形成)	100.76%	116.94%
第2款 筋骨格計・四肢・体幹	100.98%	103.73%
(筋膜、筋、腱、腱鞘)	101.48%	106.05%
(四肢骨)	102.15%	104.21%
(四肢関節、靭帯)	100.85%	105.87%
(四肢切断、離断、再接着)	100.00%	100.69%
(手、足)	101.16%	104.33%
(脊椎、骨盤)	100.24%	101.22%
第3款 神経系・頭蓋	100.78%	101.93%
(頭蓋、脳)	101.21%	104.37%
(脊髄、末梢神経、交感神経)	100.36%	99.49%

外保連試算を指標にした点数改定(項目別)

区分番号	手術名	点数		改定率	
		30年度	02年度	02年度	30年度
K001-1	皮膚切開術 長径10cm未満	470	570	121.28%	
K001-2	皮膚切開術 長径10cm以上20cm未満	820	990	120.73%	
K001-3	皮膚切開術 長径20cm以上	1470	1770	120.41%	
K002-1	デブリードマン 100cm ³ 未満	1020	1260	123.53%	
K002-2	デブリードマン 100cm ³ 以上3000cm ³ 未満	3580	4300	120.11%	119.73%
K009-1	皮膚剥削術 25cm ² 未満				
K017-1	遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付き)乳房再建術の場合	87800	89880	102.28%	104.56%
K071-2	遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付き)その他の場合	92460	94480	102.16%	
K020	自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付き)	127310	131310	103.14%	
K025	股関節内転筋切離術	5290	6370	120.42%	119.95%
K029	筋肉内異物摘出術	2840	3440	121.13%	
K045-3	骨折経皮的鋼線刺入術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)、その他	1660	1990	119.88%	
K050-3	腐骨摘出術 頬骨、膝蓋骨、手、足、その他	3420	4100	119.88%	
K054 注	患者適応型変形矯正ガイド加算	6000	9000	150.00%	
K057 注	患者適応型変形矯正ガイド加算	6000	9000	150.00%	
K061-1	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	1500	1800	120.00%	
K061-2	関節脱臼非観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	1300	1560	120.00%	
K061-3	関節脱臼非観血的整復術 肩鎖、指(手、足)、小児肘内障	800	960	120.00%	
K075-1	非観血的関節授動術 肩、股、膝	1320	1590	120.45%	
K083	鋼線等による直達牽引(初日)(1局所につき)	3010	3620	120.27%	119.92%
K089	爪甲除去術	640	770	120.31%	
K090-1	ひょう疽手術、軟部組織のもの	990	1190	120.20%	
K133-2	後縦靭帯骨化症手術(前方進入のもの)	69000	78500	113.77%	

整形外科領域では以下の要望が採択された。

(新設)

- 1) 人工距骨全置換術(日本足の外科学会) (27100 点)
- 2) 人工関節再置換術・股関節(摺動面のみ)(日本股関節学会、日本整形外科学会) (25000 点)
- 3) 悪性骨・軟部腫瘍手術(処理骨移植を伴うもの)(日本整形外科学会) (15000 点)
- 4) 椎間板内酵素注入療法(化学的髄核融解術)(日本整形外科学会、日本脊椎脊髄病学会、日本ペインクリニック学会) (5350 点)
- 5) 頸椎人工椎間板置換術(日本脊椎脊髄病学会) (36780 点)

(改正)

- 1) 小児運動器疾患指導管理料(適応年齢の引き上げ)(日本運動器科学会)
- 2) 複数手術に関する費用の特例の対象手術に神経再生誘導術を追加(日本手外科学会、日本整形外科勤務医会)
- 3) 通則 14 の追加: 内視鏡下椎間板切除術、内視鏡下椎弓切除術、内視鏡下椎弓形成術(日本整形外科学会、日本脊椎脊髄病学会)
*本技術の算定要件として日整会・骨軟部腫瘍委員会「処理骨の作成に係る指針・手術手順」を日整会ホームページの骨軟部腫瘍相談コーナーに掲載。
- 4) 前腕から手根部における腱縫合術の複数加算(日本手外科学会)
- 5) 骨切り術(カスタムガイドを用いる)(日本手外科学会)
- 6) 高位脛骨骨切り術に伴う膝関節鏡下手術加算(日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会)
- 7) 変形治癒骨折矯正手術(カスタムガイドを用いる)(日本手外科学会)
- 8) 関節鏡下膝十字靭帯形成手術複数靭帯加算(日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会)
- 9) 後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)(日本脊椎脊髄病学会、日本整形外科学会、日本整形外科勤務医会)
- 10) 側弯症手術と悪性骨腫瘍手術における術中ナビゲーション加算の適応追加(日本整形外科学会、日本側弯症学会)
- 11) K084-2 四肢切断術 指(手、足) (廃止術式)

(日本整形外科学)

・外保連報告

1) 手術委員会

- ・手術に対する手術時間、術者数などの実態調査を行う。
前回調査が 4 年前であり前回同様、日本外科学会の外科専門医制度修練施設(指定施設)および関連施設に願う。
- ・手術試案に掲載している医療材料の再調査を各学会に依頼する。
現在掲載している医療材料は 10 年前の調査結果が大部分で、実態とかけ離れているものが増加している。

2) 麻酔委員会

- ・末梢神経ブロックが 450 点に増点
- ・医師の負担軽減の推進の観点から、適切な研修を修了した看護師(いわゆる特定看護師)が麻酔行為の一部を実施しても麻酔管理料(Ⅱ)が算定可能になった。

3) 実務委員会

- ・令和 4 年度診療報酬改定に向けた実務委員会活動スケジュール(案)
令和 2 年

3 月: 不合理・矛盾点の意見募集

5 月上旬: 不合理・矛盾点の意見募集締切

5 月中～下旬: 第 1 回実務委員会(不合理・矛盾点より緊急要望の検討)

(本年度要望書の元となる新設・改正・材料要望項目アンケートについて説明)

6 月: 緊急要望提出

新設・改正・材料要望項目アンケートの依頼(簡単な内容記載)

試案未掲載項目の各種委員会提出・承認期間

11 月 30 日: 新設・改正・材料要望項目アンケートの締切(簡単な内容記載)

要望項目の調整作業(要望書記載学会の調整)

令和 3 年

2 月: 第 1 回実務委員会

3 月上旬: 要望書記載学会への要望書作成依頼

(新設・改正・材料要望項目要望書の Web 入力開始依頼)

3 月中旬: 要望書作成説明会(開催しない場合も)

ある)

3月下旬:新設・改正・材料要望項目要望書締切

4月:外保連事務支局による校正作業

5月中旬:外保連総会にて承認(3月総会の要望項目承認のみで開催しない場合もある)

5月下旬:厚生労働省へ要望書(製本なし)を持参して陳情

7月:(要望書として製本する場合は製本し、関係方面に配布)

7月～8月:厚生労働省によるヒアリング実施(未定)

4) AI 診療について

- ・AI 診療に関して今後内保連と合同でワーキンググループを立ち上げる。
- ・現状でAI 診療については保険医療分野AI 開発加速コンソーシアムによって検討が進められているが、診療現場の意見を取り入れる必要がある。
- ・AI 診療の導入に伴い診断料が下がる懸念がある。
- ・上記により内保連と外保連で作業部会を設置し、厚生労働省が事務局となる方向での検討を進めている。

5 内保連関係の報告

石橋先生より報告

特になし。

6 関東地区整形外科勤務医会 幹事・常任幹事会、総会

第70回教育研修会

日時:2020年6月13日(土)

場所:AP東京八重洲通り

14:30～15:20 幹事・常任幹事会

15:30～15:50 総会

15:50～16:00 商品説明

16:00～18:00 第70回教育研修会

18:00～ 情報交換会

演題1 座長 江畑 功 先生(横須賀共済病院 院長補佐)

演題:股関節手術の進歩

～疼痛に対するマネージメント～

演者:横浜市立大学整形外科教授

稲葉 裕 先生

必須分野番号:11 必須分野番号:13

開始時間:16:00 終了時間:17:00

演題2 座長 山縣 正庸 先生(千葉ろうさい病院 勤労者脊椎・腰痛センター長)

演題:これからの医師の働き方
～新しいパラダイム～

演者:厚生労働医務技監
鈴木 康裕 先生

必須分野番号:14-4

開始時間:17:00 終了時間:18:00

7 2020年10月の常任幹事会の日時、場所

日時:2020年10月26日 月曜日 19:00～20:00

場所:AP東京八重洲通り

日整会代議員選挙に関して

推薦状署名・捺印など

8 第70回教育研修会の日時、場所

日時:2020年12月12日 土曜日 16:00～18:00

場所:AP東京八重洲通り

9 その他

「医療用医薬品製造販売業公正競争規約」に則した教育研修会運営のためには2演題のうち1演題の演題名に「痛み」「疼痛」「ペイン」などの単語が入ることが絶対に必要です。

【審議事項】

1 第71回教育研修会(2020年12月12日土曜日)の演者の選定に関して

教育研修委員会 委員長 村松 俊樹先生から

現在、教育研修委員で検討中です。

2 東日本整形災害外科学会パネル・シンポジウム

(2020年9月18～19日)に関して

テーマ、演者、座長など

関東地区整形外科勤務医会には特に依頼はないようです。

3 新常任幹事の推薦

上田 誠司先生 川崎市立川崎病院 整形外科 部長
(鎌田 修博先生からの推薦、小柳先生の後任)

→審議者全員が承認

森岡 秀夫先生 国立病院機構東京医療センター 整形外科 医長

(鎌田 修博先生からの推薦)

→審議者全員が承認

4 常任幹事退任

小柳 貴裕先生(川崎市立川崎病院を本年3月で定

年退職のため)

5 今後の本会のあり方に関して

鎌田先生からのご意見：

幹事の先生方と顔合わせる機会が減るのは残念ですが、関東整形外科勤務医会の財政事情、費用対効果を考えると、メール審議を増やすことで会場費を削減することもできますので、今後は3月と10月（代議員、理事選挙のない時に限り）の常任幹事会はメール審議 とすることも検討課題かと思えます。

事務局からの実情の報告（中川照彦）

現在360万円残高がありますが、毎年90万円の赤字になっています。このままですと、あと4年で底をつきます。3月と10月の常任幹事会の室料は126,000円ですので、鎌田先生のご意見通り2年間で3回メール審議にすると38万円程度の節約ができます。

動議：今後は3月と10月（代議員、理事選挙のない時に限り）の常任幹事会はメール審議とする事案
→審議者全員が賛成

以上

オリンピックイヤーとして始まった2020年は、COVID19の感染蔓延により世の中は一変いたしました。テレワーク、リモートワークやビデオ会議などにより、想定外での「働き方改革」が進み、日常生活や勤務形態は大きく変化したように感じます。

5月に予定されていた日整会の総会はWeb開催となりました。関東勤務医会においても、通常は参集して開催される常任幹事会はメールでの審議、6月に予定されていた総会や講演会は余儀なく中止となりました。

今後は、一日も早くのコロナウイルスの感染収束、診断薬や治療薬、ワクチンなどの開発が待たれるところでもあります。

一方、日整会では、手術症例の全例登録であるJOANRが4月より開始されました。当初は、入力にご苦労されることも多かったようですが、その後、入力にも少し慣れられたものと思います。そして、症例を登録後30日が経過すると、医長の先生方には毎日のようにメールが届き、JOANRの画面で「入力完了」のクリックにご苦労されているものと存じます。今後は、多くの会員の努力により入力されたデータが有効利用されることを期待します。

（文責 伊室 貴）

入 会 申 込 書

令和 年 月 日

(フリガナ)

御 氏 名 _____

生年月日 _____ (昭和・平成) _____ 年 月 日

現 住 所 〒 _____

TEL _____

勤務先名称 _____

勤務先住所 〒 _____

TEL _____

FAX _____

e-メール _____

役 職 名 _____

出身大学 _____

卒業年度 _____

出身教室 _____

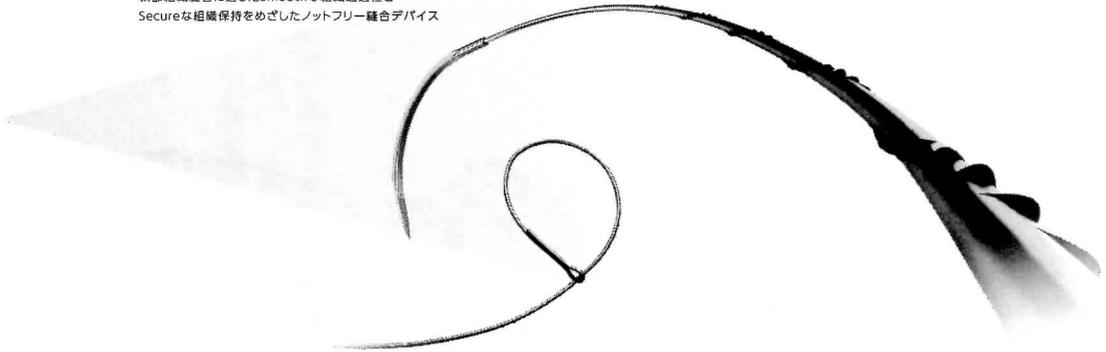
入会申込み送り先

〒130-8587 東京都墨田区横網2-1-11
同愛記念病院整形外科
関東地区整形外科勤務医会
事務局代表 中川 照彦
TEL 03-3625-6381
FAX 03-5608-3211

STRATAFIX® Spiral PDS PLUS®

Smooth and Secure

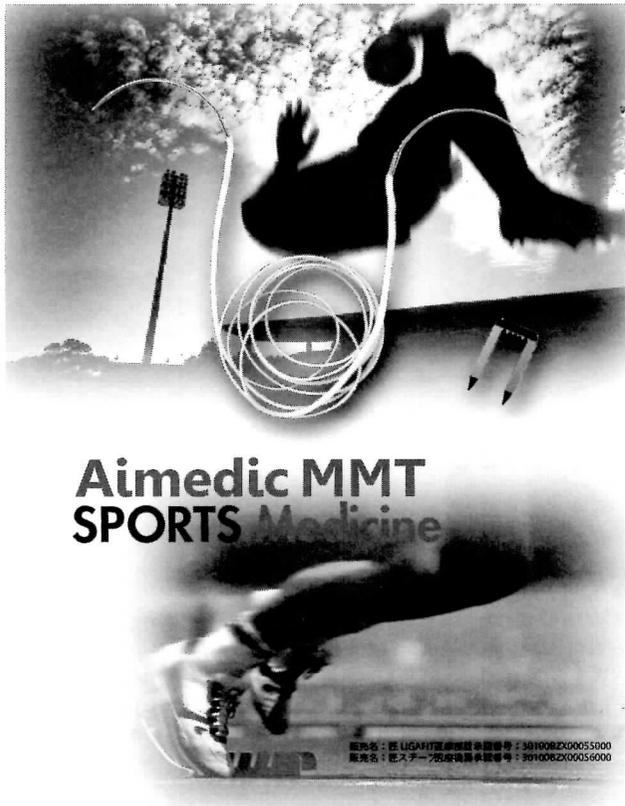
軟部組織縫合に適したSmoothな組織透過性と
Secureな組織保持をめざしたノットフリー縫合デバイス



ETHICON
PART OF THE Johnson & Johnson FAMILY OF COMPANIES

製造販売元: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー
〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号
高度管理医療機器 販売名: STRATAFIX Spiral PDS プラス 承認番号: 229008ZX00123000

076536-170719 ©J&JKK 2017



Aimedic MMT
SPORTS Medicine

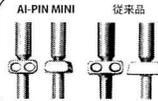
販売名: 匠 LIGAPIT 医療機器承認番号: 301008ZX00055000
販売名: 匠 ステープ 医療機器承認番号: 301008ZX00056000

AI-Wiring System 0

AI-ワイヤリングシステム ゼロ

AI-ワイヤリングシステム ゼロは、
柔軟で高い引っ張り強度を持つケーブルとスリーブボックスを
一体化することで優れた固定性を得ることができ、
幅広い適応性をもつ骨端部固定システムです。

- ・ケーブルとスリーブボックスを圧着することで得られる優れた固定性
- ・軟部組織の刺激の低減に貢献するロープロファイルインプラント形状
- ・簡便で確実な操作性をもたらす専用インスツルメント



従来品に比べ大幅な小型化を実現しました。
圧着後も角張らない丸みを帯びたデザインとしました。

KINKLESS-CABLE

従来品

19×7のマルチフィラメント構造とすることで
優れた操作性と滑らかな表面形状を実現しました。

AI-PIN SINGLE



骨面と同レベルまで打ち込むことができるように
テーパ形状のヘッドホールを採用しました。

STANDARD-SLEEVE



小さく丸みを帯びたデザインとしました。

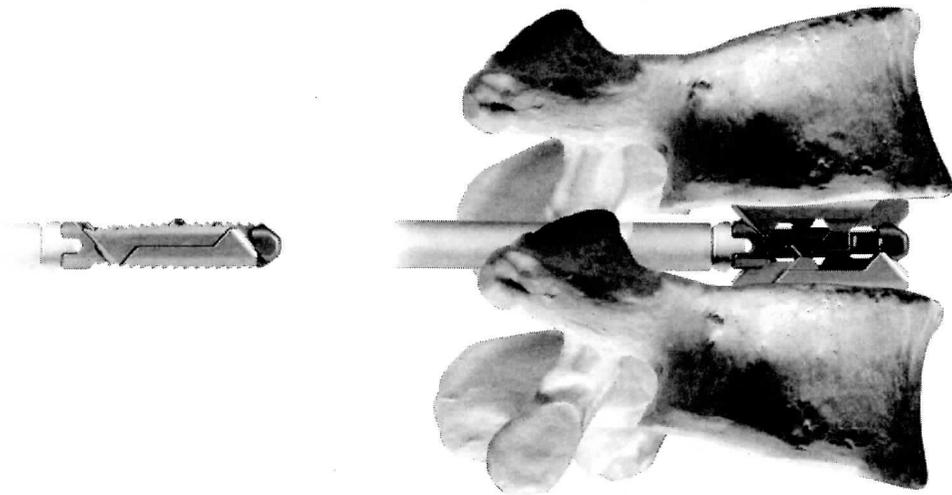
販売名: AI-ワイヤリングシステム ゼロ 医療機器承認番号: 228008ZX00201000
販売名: キングレスケーブル 医療機器承認番号: 228008ZX00200000



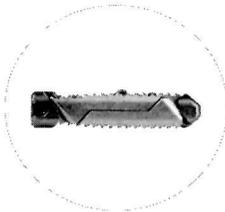
株式会社 **Aimedic MMT**
〒108-0075 東京都港区港南1-3-70 品川シーズンテラス
URL: <http://www.aimedicmnt.com/jp/>

RISE[®]

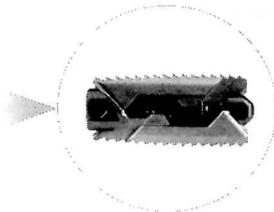
Titanium Lumbar Cage System



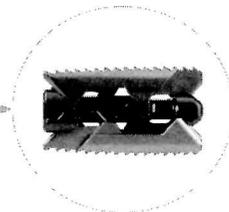
CONTRACTED



PARTIALLY EXPANDED



FULLY EXPANDED



販売名 RISE[®] Ti ランバー ケージ システム
承認番号: 22900BZX00420000

製造 販売元(許可番号: 13B1X00051)

グローバスメディカル株式会社

〒102-0082 東京都千代田区一番町 10 番地2 一番町 M ビル

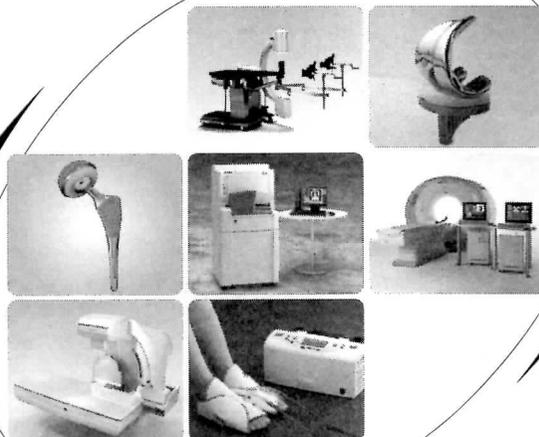
TEL (03) 3511-5185 (代表) FAX (03) 3511-5187

製造元

GLOBUS MEDICAL, INC.(米国) www.globusmedical.com



かけがえのない命の手助け…



『人と医療』のパートナー
サンメディックス株式会社

本社 〒104-6136
東京都中央区晴海1-8-11 晴海トリトンスクエアY棟36階
TEL 03-5144-0855(代) FAX 03-5144-0850

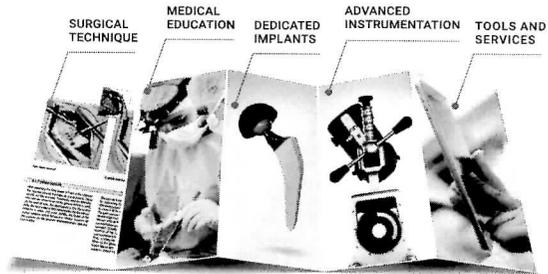
- | | | | | | |
|------------------------------------|-----------------|---------------------------------|---------------------|---------------------------------|-----------------|
| <input type="checkbox"/> 宇都宮支店 | 〒320-0074 | 栃木県宇都宮市細谷町388-1 | TEL:028-616-1580(代) | FAX:028-623-7350 | |
| <input type="checkbox"/> 東京第一支店 | 〒179-0075 | 東京都練馬区高松6-35-15 | TEL:03-5923-6235(代) | FAX:03-5393-3057 | |
| <input type="checkbox"/> 東京第二支店 | 〒130-0014 | 東京都墨田区亀沢4-17-12 | TEL:03-5619-4551(代) | FAX:03-6859-0016 | |
| <input type="checkbox"/> 東京第三支店 | 〒168-0063 | 東京都杉並区和泉1-22-19 | TEL:03-6680-0460(代) | FAX:03-6680-0538 | |
| <input type="checkbox"/> 横浜支店 | 〒240-0005 | 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 | TEL:045-348-7260(代) | FAX:045-348-7261 | |
| <input type="checkbox"/> 相模原支店 | 〒252-0236 | 神奈川県相模原市中央区富士見6-15-2 | TEL:042-756-4234(代) | FAX:042-776-9092 | |
| <input type="checkbox"/> 首都圏物流センター | 〒143-0006 | 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センターA棟3F | TEL:03-5764-5110(代) | FAX:03-5764-5119 | |
| <input type="checkbox"/> 小山営業所 | 0285-30-3388(代) | <input type="checkbox"/> 埼玉営業所 | 048-640-6621(代) | <input type="checkbox"/> 厚木営業所 | 046-296-2822(代) |
| <input type="checkbox"/> 佐野営業所 | 0283-21-1007(代) | <input type="checkbox"/> 埼玉西営業所 | 0493-21-7310(代) | <input type="checkbox"/> 山梨出張所 | 055-280-8015(代) |
| <input type="checkbox"/> 水戸営業所 | 029-305-6125(代) | <input type="checkbox"/> 千葉営業所 | 043-244-6322(代) | <input type="checkbox"/> 長野営業所 | 026-229-8030(代) |
| <input type="checkbox"/> 筑波営業所 | 029-850-5185(代) | <input type="checkbox"/> 多摩営業所 | 042-348-5011(代) | <input type="checkbox"/> 松本営業所 | 0263-24-1125(代) |
| <input type="checkbox"/> 前橋営業所 | 027-280-4433(代) | <input type="checkbox"/> 川崎営業所 | 044-870-6377(代) | <input type="checkbox"/> 名古屋営業所 | 052-218-2735(代) |

URL : <http://www.sunmedix.co.jp> E-mail : mailbox@sunmedix.co.jp

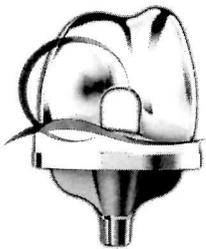
Medacta Internationalはスイスに本社を置く、整形及び脳外科インプラントの開発・製造・販売を行っているグローバルカンパニーです。Medactaは**患者の生活の質を高める**ことをビジョンとして掲げております。

イノベーション、教育訓練の場を提供します。

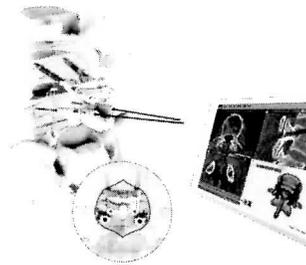
AMIS[®] Experience
ANTERIOR MINIMALLY INVASIVE SURGERY
IN HIP REPLACEMENT



GAAK[®] SPHERE
MEDIANLY STABILIZED KNEE



MySpine[®] MC
PATIENT MATCHED TECHNOLOGY
IN SPINE SURGERY



MEDACTA SHOULDER SYSTEM

Reverse

Anatomic



製造販売業 [許可番号:13B1X10060]

メダクタジャパン株式会社

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-5 麹町中田ビル

TEL 03-6272-8797 FAX 03-6272-8798

承認番号:226008ZX00321000

販売名:G M K S P H E R E 人工膝関節システム

承認番号:225008ZX00227000

販売名:G M K セメントッド人工膝関節システム

承認番号:224008ZX00470000

販売名:M U S T スパイナルシステム

承認番号:230008ZX00210000

販売名:M E D A C T A 人工肩関節システム

承認番号:228008ZX00254000

販売名:MySpine P5ガイド

届出番号:13B1X10060H01001

販売名:AMIS モバイル レッグポジショナー

承認番号:230008ZX00267000

販売名:M E D A C T A 人工肩関節システム リバース型



MEDACTA.JP

ハイブリッドシーネ ニー

ギブスシーネと膝関節固定帯の機能を合体した膝関節専用のギブス包帯。

ギブスシーネと膝関節専用のシーネホルダーをセットし、ギブスの固定力と着脱の簡便性を両立した膝関節専用のギブス包帯。

シーネホルダー + ギブスシーネ



ニールスプリント
プリカットタイプ



伸展タイプと屈曲タイプの2種類を用意。



伸展位で
膝関節を固定。

軽度屈曲位で
膝関節を固定。

■ギブス包帯/一般医療機器
■医療機器届出番号: 13B2X00187000045

製造販売業者

SIGMAX 日本シグマックス株式会社

インターネットで日本シグマックスの情報をご覧いただけます。日本シグマックスのホームページ <https://www.sigmax-med.jp/>

本社: 〒163-6033 東京都新宿区西新宿6-8-1
お客様窓口 TEL.0800-222-6122 (通話料無料)
受付時間: 9時~17時(平日) ※土日、祝日、年末年始を除く



stryker

Accolade® II Femoral hip stem

アコレード® II 人工股関節 ステム

- 独自のSOMA*使用でより多くの患者にフィットする、アプローチを選ばないデザイン
- モルフォメトリックウェッジデザイン採用
- 簡便な器械システムで効率化を促進

* Stryker Orthopaedics Modeling and Analytics system



**SOMA™
DESIGNED**

医療機器認証番号 販売名
22400BZX00426000 アコレードII

※本製品に関するお問い合わせは弊社営業までお願い致します。

製造販売業者

日本ストライカー株式会社

112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー

P 03 6894 0000

www.stryker.com/jp

医療従事者向けサイト: Stryker medical professional site

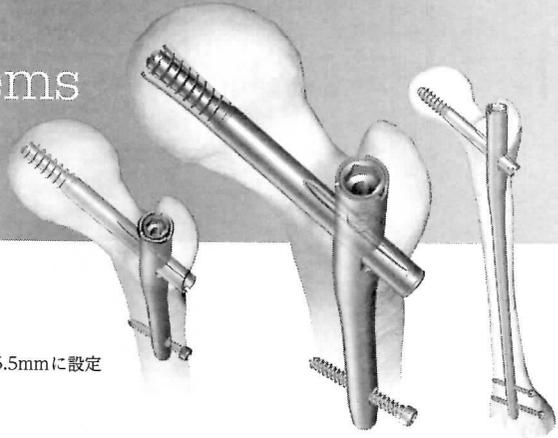
www.stryker.co.jp/mp2/

stryker

Gamma3 Hip fracture systems

ガンマ 3 ヒップフラクチャーシステム

ガンマ3 トロキャンテリッグネイル
ガンマ3 ロングネイル R1.5
ガンマ3 U-ラグスクリュー



U-ラグスクリュー
高い回旋抵抗力と骨把持力

ネイル形状
日本人の大腿骨形状に合わせて長さを170mm、近位径を15.5mmに設定

Distal Targeting System
高精度かつ操作性に優れたデバイス

医療機器承認番号 販売名
21500BZY00261000 ガンマ3 ロッキングネイルシステム
22400BZX00049000 ガンマ3 U-ラグスクリュー
21300BZY00378000 T2 ロッキングネイルシステム

※本製品に関するお問い合わせは弊社営業までお願い致します。

製造販売業者
日本ストライカー株式会社
112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー
P 03 6894 0000
www.stryker.com/jp
医療従事者向けサイト: Stryker medical professional site
www.stryker.co.jp/mp2/

KORUS STEM

UNCEMENTED STEM



KORUSシステムは、ますます多様化する手術に対して、術者に信頼できる解決策を提供することを目的に開発されました。



Finishing

骨癒合を促進させるハイドロキシアバタイトコーティング

Proximal trapezoid

軸の回旋応力を吸収し、骨との固着を促進する近位部の台形断面

Step Geometry

回旋応力を圧縮応力に変換するステップ形状

■製造元



GRUPPO BIOIMPIANTI SRL (イタリア)

■製造販売元

Next 日本メディカルネクスト株式会社

■販売名: KORUS セメントレスシステム
■医療機器承認番号: 30100BZX00243000

札幌 ☎011-622-4361 仙台 ☎022-299-2371
関東 ☎048-642-3360 東京 ☎03-5665-2780
名古屋 ☎052-242-5201 大阪 ☎06-6222-1851
広島 ☎082-270-3071 福岡 ☎092-622-7730

TEIKOKU
SEIYAKU CO., LTD.

KETOPROFEN
PAP XR 120mg
「TEIKOKU」

ケトプロフェンパップXR120mg「テイコク」は、
ケトプロフェンパップ120mg(10×14cm非温感)製剤の
唯一の後発医薬品として2018年12月に製造販売承認を取得し
2019年1月に発売した膏体6gの薄型のパップ剤です。

経皮鎮痛消炎剤

薬価基準収載

ケトプロフェンパップXR120mg「テイコク」

KETOPROFEN PAP XR 120mg「TEIKOKU」 ケトプロフェンパップ剤

禁忌(次の患者には使用しないこと)

- (1) 本剤又は本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者
(「重要な基本的注意」の項(1)参照)
- (2) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者
[喘息発作を誘発するおそれがある。]
- (3) チアプロフェン酸、スプロフェン、フェノフィブラート並びにオキシベンゾン及びオクトクリレンを含有する製品(サンスクリーン、香水等)に対して過敏症の既往歴のある患者[これらの成分に対して過敏症の既往歴のある患者では、本剤に対しても過敏症を示すおそれがある。]
- (4) 光線過敏症の既往歴のある患者[光線過敏症を誘発するおそれがある。]
- (5) 妊娠後期の女性
(添付文書の「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照)

■効能・効果

- 下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎
腰痛症(筋・筋膜炎腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫)、
変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎
(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛
- 関節リウマチにおける関節局所の鎮痛

〈効能・効果に関連する使用上の注意〉

- (1) 本剤の使用により重篤な接触皮膚炎、光線過敏症が発現することがあり、中には重度の全身性発疹に進展する例が報告されているので、疾病の治療上の必要性を十分に検討の上、治療上の有益性が危険性を上回る場合にのみ使用すること。
- (2) 損傷皮膚には本剤を使用しないこと。

■用法・用量

- 1日1回患部に貼付する。

■使用上の注意

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
気管支喘息のある患者[アスピリン喘息患者が潜在しているおそれがある。]
(4.副作用(1)「重大な副作用」の項(2)参照)
2. 重要な基本的注意
(1) 本剤又は本剤の成分により過敏症(紅斑、発疹、発赤、腫脹、刺激感、痒痒等を含む)を発現したことがある患者には使用しないこと。
(2) 接触皮膚炎又は光線過敏症を発現することがあり、中には重度の全身性発疹に至った症例も報告されているので、使用前に患者に対し次の指導を十分に行うこと。(4.副作用(1)「重大な副作用」の項(3)(4)参照)
1) 紫外線曝露の有無にかかわらず、接触皮膚炎を発現することがあるので、発疹、発赤、痒痒感、刺激感等の皮膚症状が認められた場合には、直ちに使用を中止し、患部を遮光し、受診すること。なお、使用後数日を経過して発現する場合がありますので、同様に注意すること。
(3) 皮膚の感染症を不顕性化するおそれがあるので、感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗菌剤又は抗真菌剤を併用し、観察を十分に行い慎重に使用すること。

- (4) 腰痛症、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛に本剤を使用する場合は、以下の点に注意すること。
1) 本剤による治療は対症療法であるので、症状に応じて薬物療法以外の療法も考慮すること。また、投与が長期にわたる場合には患者の状態を十分に観察し、副作用の発現に留意すること。
- (5) 関節リウマチにおける関節局所の鎮痛に本剤を使用する場合は、以下の点に注意すること。
1) 関節リウマチに対する本剤による治療は対症療法であるので、抗リウマチ薬等による適切な治療が行われ、なお関節に痛みの残る患者のみに使用すること。
2) 関節痛の状態を観察しながら使用し、長期にわたり漫然と連用しないこと。また、必要最小限の枚数にとどめること。

3. 相互作用

【併用注意】(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
メトレキサート	ケトプロフェン経口剤とメトレキサートの併用によりメトレキサートの作用が増強されることがある。	ケトプロフェンとメトレキサートを併用した場合、メトレキサートの腎排泄が阻害されることが報告されている。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用(頻度不明)

- 1) ショック、アナフィラキシー
ショック、アナフィラキシー(蕁麻疹、呼吸困難、顔面浮腫等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。
- 2) 喘息発作の誘発(アスピリン喘息)
喘息発作を誘発することがあるので、乾性ラ音、喘鳴、呼吸困難感等の初期症状が発現した場合は使用を中止すること。気管支喘息患者の中には約10%のアスピリン喘息患者が潜在していると考えられているので留意すること。なお、本剤による喘息発作の誘発は、貼付後数時間で見られている。【禁忌】の項(2)参照)
- 3) 接触皮膚炎
本剤貼付部に発現した痒痒感、刺激感、紅斑、発疹・発赤等が悪化し、腫脹、浮腫、水疱・びらん等の重度の皮膚炎症状や色素沈着、色素脱失が発現し、さらに全身に皮膚炎症状が拡大し重篤化することがあるので、異常が認められた場合には直ちに使用を中止し、患部を遮光し、適切な処置を行うこと。なお、使用後数日を経過してから発現することもある。
- 4) 光線過敏症
本剤の貼付部を紫外線に曝露することにより、強い痒痒を伴う紅斑、発疹、刺激感、腫脹、浮腫、水疱・びらん等の重度の皮膚炎症状や色素沈着、色素脱失が発現し、さらに全身に皮膚炎症状が拡大し重篤化することがあるので、異常が認められた場合には直ちに使用を中止し、患部を遮光し、適切な処置を行うこと。なお、使用後数日から数ヶ月を経過してから発現することもある。

(2) その他の副作用

	頻度不明
皮膚 ^{注)}	皮膚剥脱、局所の発疹、発赤、腫脹、痒痒感、刺激感、水疱・びらん、色素沈着、皮下出血等
過敏症 ^{注)}	蕁麻疹、眼瞼浮腫、顔面浮腫
消化器	消化性潰瘍

注)このような症状があらわれた場合は直ちに使用を中止すること。

製造販売元

帝國製薬株式会社
香川県東かがわ市三本松567番地

(製品情報お問い合わせ先)

医薬営業部 製品情報室

TEL:0120-189-567

受付時間/月～金 9:00～17:30(祝日、当社休日を除く)

https://www.teikoku.co.jp/medical/

●その他の使用上の注意は、添付文書をご参照ください。

2019.12作成

